

こどもたちがおしえてくれたこと

— 発達障害のこどもたちと向き合う臨床の現場から —

発刊当時、のぞみの園の診療所で、発達障害のあるこどもたちを診察していた有賀道生先生。診察の現場で体験したことや感じたことを「臨床の現場から」というタイトルで、ニュースレター（のぞみの園発刊）に寄稿してきました。その中から全15の短編を1冊にまとめました。発達障害のあるこどもと向き合うご家族や支援者の方々におすすめです。たくさんのお話を、こどもたちは教えてくださいます。



新価格 **500**円（消費税・送料込）

目次

- ・ 常に「オンライン」なこどもたち
- ・ 「SNS」は安全？危険？
- ・ 親子の「共同作業」
- ・ 「種まき」と「水遣り」の繰り返し
- ・ こどもの「水先案内人」になること
- ・ こどもの「メンタルヘルスケア」について
- ・ こどもたちの「診療場面」の一風景
- ・ 発達障害に関する「講演活動」より
- ・ 「委託医」として
- ・ 「障害者虐待防止」について
- ・ 対話には「コツ」がある
- ・ こどもの気持ちを「日常の1コマ」に例えてみよう
- ・ 「居場所」と「つながり」がこどもに必要な
- ・ 「何事もきめつけない」ようにしたい
- ・ 満たされない「こどものこころ」